



# 輝け 岡野っ子

令和5年度 児童数116名 園児数18名 令和6年3月号

★卒園・卒業・修了 おめでとうございます★  
～幼稚園 3月19日(火)に卒園式、小学校 3月21日(木)に卒業式～  
令和5年度岡野幼稚園では3月19日(火)に卒園式を、岡野小学校では3月21日(木)に卒業式を行いました。幼稚園は6名、小学校は22名が幼稚園・小学校を巣立って

いきました。  
保護者の皆様、地域の皆様、今年度も学校教育にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。今後も、岡野っ子を温かく見守っていただきますようお願いいたします。

## ☆「夢プロジェクト第5弾」 3月4日(月) 『地震から大切な人を守るために ～能登半島地震から学ぶ～』

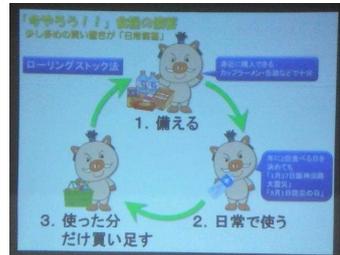


3月4日(月)の全校朝会で、3学期の「夢プロジェクト第5弾」として、岡野小学校の保護者でもある「森本良太」さんに来ていただき、防災について上記のテーマでお話をさせていただきました。

森本さんは、1月28日から2月2日までの6日間、丹波篠山市の職員として、倒壊した家屋の被害状況を調査するために、石川県珠洲市に派遣されました。その時撮られた写真を見ると、地震の激しさが伝わってきました。今回の地震による被害についてのお話や、私たちの地域の行事が防災と深い関係があること(土手の桜と花見、祭りのお神輿が練り歩く道順など)は新しい発見でした。

そして、「災害は必ずやってきます。でも、備えがあることで、守れる命があります。できることから取り組んでみましょう。あなた自身やあなたの大切な人を守ってください!」と、力強くお話しされました。

そんなに大きな地震は来ないだろうと思っていた丹波篠山市でも、周りにはたくさんの断層があり、大きな地震が起こりうるということを知って、びっくりしました。震度6弱や震度5強の可能性があるので、能登半島地震でも、たくさんの家屋が倒壊していましたが、丹波篠山市でも、耐震補強された家はそんなにあるようには思えません。



地震の被害をできる限り少なくするためには、家具を固定して転倒防止したり、普段の生活の中で賞味期限の近い備蓄食品を消費し、定期的に新しいものを補充するローリングストックを行ったりすることも大切だと教えていただきました。地震から大切な人を守るためには、日頃から地震や災害に備えておくことが何より大切であることを学ぶ良い機会になりました。



## ◆◇ 学校評価（児童アンケート・保護者アンケート）より ◇◆

今年度実施しました学校評価に関する「保護者アンケート」につきまして、お忙しい中、ご協力をいただき、ありがとうございました。ご報告が遅くなりましたが、その結果について同時期に実施しました児童アンケートとともにお伝えいたします。

### 【児童・保護者アンケートの結果について】

- 「学校は楽しいですか。」「お子様は、楽しく学校に通っていますか。」の項目について、90%程度が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答している。
- 「いじめ対応」に関する項目について、児童は97%が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答しているが、保護者は30%が「わからない」と回答している。
- 「生活リズム（早寝・早起・朝ごはん）」に関する項目について、80%程度「達成できた」「ほぼ達成できた」と回答している。
- 「基礎学力（読み・書き・計算力）」に関する項目について、90%程度「達成できた」「ほぼ達成できた」と回答している。
- 「表現力（友だちに考えを伝える力）」に関する項目について、20%以上が「あまり達成できていない」「達成できていない」と回答している。

### 【アンケート結果から】

- 「学校は楽しい。」「楽しく学校に通っている。」と回答している児童が多いのは、学校・家庭・地域の連携により、学校での生活に安心感を持っていてからと考えられます。さらに、学校が楽しいと感じられるよう支援を行ってまいります。
- 児童の大半が「いじめや仲間はずれをせず、仲良く過ごせている。」と答えていますが、一部の児童は学校生活に困っている様子で見られます。いじめがなく、全児童が楽しく学校生活を送っていきけるように、指導・支援していきます。保護者の方は、いじめ対応について「わからない。」の回答が多くなっているのは、情報発信が弱い可能性があると考えます。通信やHPを通して、行った活動について積極的に伝えていきたいと思えます。
- 「生活リズム」について、ゲームやインターネットの使用によって生活リズムが乱れている児童がいると考えられます。また、朝ごはんを食わずに登校している児童も一部見られます。良い生活リズムで生活できるように、朝ごはんの大切さ、ゲームやインターネットの使用方法について授業等を通して伝えていきたいと考えます。また、家庭とも連携して、良い生活リズムを身に付けさせる必要があると考えられます。ご協力をお願いいたします。
- 「基礎学力」については、読み・漢字・計算が正しくできているという実感を持っていることは、大きな成果であると考えます。今後も朝スキルや家庭学習を通して、繰り返し学習に取り組んでいきます。
- 「表現力」については、自分の思いを上手に表現できていない児童が見受けられます。国語科の授業に限らず、様々な場面で表現する機会を増やしていきたいと考えています。

